

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	第2外国語（中国語）(0922)	
科目基礎情報							
科目番号	5E02			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	『しっかり初級中国語』（石田友美・桑野弘美・島田亜実・鈴木ひろみ 著）白水社						
担当教員	林 雁青						
到達目標							
中国語の発音記号であるローマ字表記法をマスターする。 日常生活で使える基本的な挨拶を身につける。 努力目標として日中異文化の違いが理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
中国語の発音記号であるローマ字表記法をマスターする。	中国語の発音記号であるローマ字表記法をととも正確にマスターしている。		中国語の発音記号であるローマ字表記法をマスターしており、不正確な部分が少ない。		中国語の発音記号であるローマ字表記法をマスターしようとする姿勢はあるが、不正確な部分に改善の余地がある。		
日常生活で使える基本的 な挨拶を身につける。	日常生活で使える基本的 な挨拶を身につけ、実践で正確に、積極的に使える。		日常生活で使える基本的 な挨拶を身につけ、実践で、だいたい正確に使える。		日常生活で使える基本的 な挨拶を身につける努力はしているが、正確さと積極さがやや足りない。		
努力目標として日中異文化の違いが理解できる。	日中異文化の違いをととも正確に理解しており、説明できる。		日中異文化の違いをある程度理解しており、説明できる。		日中異文化の違いを理解する姿勢は見えるが、正確さや、説明能力に改善の余地がある。		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP1 ○ ディプロマポリシー DP6◎							
教育方法等							
概要	初歩レベルの中国語を習得し、かつ中国社会、文化に対しても理解を深める。						
授業の進め方・方法	学習は発音の修得から始まる。その後、簡単な会話文を用いて、日常で使える基本的なコミュニケーション能力を身につけることである。						
注意点	音声教材を活用して復習を十分に行ってください。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	発音① 声調・母音		声調・母音を正しくマスターし、基本的な挨拶ができる。		
		2週	発音② 子音		子音を正しくマスターし、名前の尋ね方と答え方ができる。		
		3週	発音③ n/ng付母音		n/ng付母音を正しくマスターし、数字1～9 9まで言える。		
		4週	発音④ 発音規則		発音規則をマスターし、日付の言い方ができる。		
		5週	第1課 何を食べるの？		語句、課文を聞く・読む・書くことができる。文法のポイントをマスターする。		
		6週	第1課 何を食べるの？		課文の会話文を自然に話すことができる。トレーニング1の文型と総合練習1をマスタする。		
		7週	復習		発音①～④と第1課を復習し、試験に備える。		
		8週	到達度試験 (答案返却とまとめ)				
	2ndQ	9週	第2課 それって中国語の新聞？		語句、課文を聞く・読む・書くことができる。文法のポイントをマスターする。		
		10週	第2課 それって中国語の新聞？		課文の会話文を自然に話すことができる。トレーニング2の文型と総合練習2をマスタする。		
		11週	第3課 かわいい！		語句、課文を聞く・読む・書くことができる。文法のポイントをマスターする。		
		12週	第3課 かわいい！		課文の会話文を自然に話すことができる。トレーニング3の文型と総合練習3をマスタする。		
		13週	第4課 何人家族？		語句、課文を聞く・読む・書くことができる。文法のポイントをマスターする。		
		14週	第4課 何人家族？		課文の会話文を自然に話すことができる。トレーニング4の文型と総合練習4をマスタする。		
		15週	復習（総まとめ）		第1課～第4課を復習し、100文字程度の自己紹介文を作成できる。		
		16週	到達度試験 (答案返却とまとめ)				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		到達度試験など		発表		合計	

総合評価割合	100	0	100
基礎的能力	100	0	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0